



# 営農NEWS



## 春レタスや春ハクサイでのアブラムシ類発生 に十分注意しましょう

現在、春のレタスやハクサイ栽培では、トンネルの被覆を開放し、一部では収穫が行われていますが、この時期になってアブラムシ類の発生が目立つ状況になっています。

県病害虫防除所の病害虫発生予報 4 月号によりますと、3 月中旬現在、春ハクサイでアブラムシ類の発生が平年より多い状況で、今後とも多い発生と予想しています。

収穫期近くなってアブラムシ類が発生しますと、商品価値を失ってしまいますので、早期発見に努め、発生株を中心に有効薬剤のスポット（部分）散布を行うなど、被害の拡大を抑えることが重要です。薬剤防除を行う際は、収穫前日数に十分注意して、晴天日を選んで、株全体に丁寧に散布し、薬液が夕方までには乾くような時間帯に済ませてください。薬剤によっては、収穫間際の散布および連用により薬害や汚れの生じる場合がありますので、注意事項をよく参照してください。

表 1 レタスおよびリーフレタス アブラムシ類の主な防除薬剤（平成 28 年 4 月 14 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ウララDF	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内
コルト顆粒水和剤	3,000～4,000 倍	収穫前日（リーフレタスは 7 日前）まで / 3 回以内
ダントツ水溶剤 ※	2,000～4,000 倍	収穫 3 日前まで / 2 回以内
アドマイヤーフロアブル ※	4,000 倍	収穫 3 日前（リーフレタスは 7 日前）まで / 2 回以内
ハチハチフロアブル	1,000～2,000 倍	収穫 3 日前（リーフレタスは 14 日前）まで / 2 回以内
アグロスリン水和剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 5 回（リーフレタスは 2 回）以内

表 2 ハクサイ アブラムシ類の主な防除薬剤（平成 28 年 4 月 14 日現在）

薬剤名	希釈倍数	使用時期 / 使用回数
ウララDF	2,000～3,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内
アグロスリン水和剤	1,000～2,000 倍	収穫前日まで / 5 回以内
スタークル顆粒水溶剤 ※	2,000～3,000 倍	収穫 3 日前まで / 2 回以内
ダントツ水溶剤 ※	2,000～4,000 倍	収穫 3 日前まで / 2 回以内
コルト顆粒水和剤	4,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内
トレボン乳剤	1,000～2,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
パダンSG水溶剤	1,500 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内

注) 上記※印は、ネオニコチノイド系薬剤です。同系統の連続散布は、避けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040